

市民満足度調査について

1. 調査の目的

本アンケート調査は、市民を対象に、定住意向、総合的な住みやすさの満足度、既存の施設やサービスの満足度、市民の役割分担状況など第6次総合計画第1期基本計画に位置付けた指標の動向や5年後のまちの市民実感度を把握し、計画の進捗状況を検証するとともに、各施策を推進していくための基礎資料とすることを目的として実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査名称

令和2年度生駒市市民満足度調査

(2) 調査対象

調査対象	生駒市在住の18歳以上の市民
調査数	3,000人
抽出方法	基準日現在の住民基本台帳に登録されている方から層化無作為抽出

(3) 調査方法と調査期間

調査方法：郵送による配布及び回収

調査期間：令和2年8月3日～令和2年8月17日

※8月31日までの返信分を集計・分析の対象とした。

調査票：A・B・Cの3種類（(4)調査項目のうち、⑦5年後のまちの姿の進捗度、⑧市民の役割分担の設問のみ異なる。）

(4) 調査項目

- ① 定住意向・生駒市のイメージ・住みやすさの満足度など（5項目）
- ② 市政・まちづくりへの参加・関心（4項目）
- ③ 施設の満足度（19項目）
- ④ 取組やサービスの満足度（25項目）
- ⑤ 施策の重要度（30項目）
- ⑥ 総合計画に示す5年後のまちの姿の進捗度（約23項目）×3種類
- ⑦ 市民の役割分担について（約23項目）×3種類
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症の生活への影響（2項目）
- ⑨ 属性質問（8項目）

3. 回答数

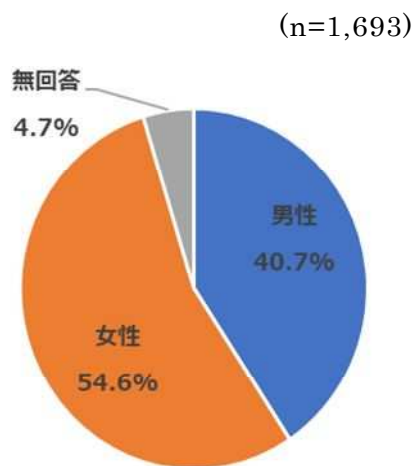
(1) 有効回答数

発送数 (件)	回収数 (件)	無効数※ (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
3, 0 0 0	1, 6 9 5	2	1, 6 9 3	5 6 . 4

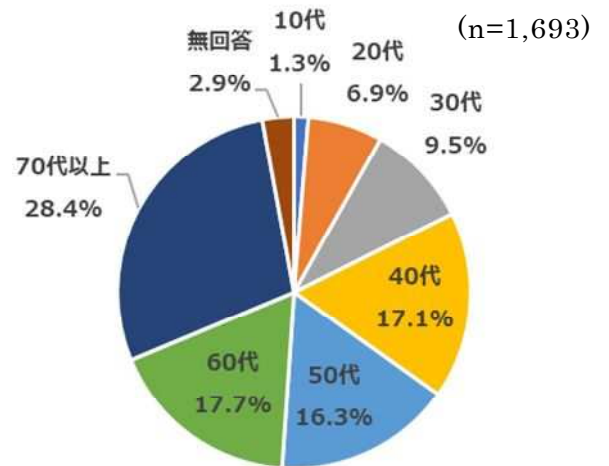
※白紙で返送されたもの

(2) 回答者の属性

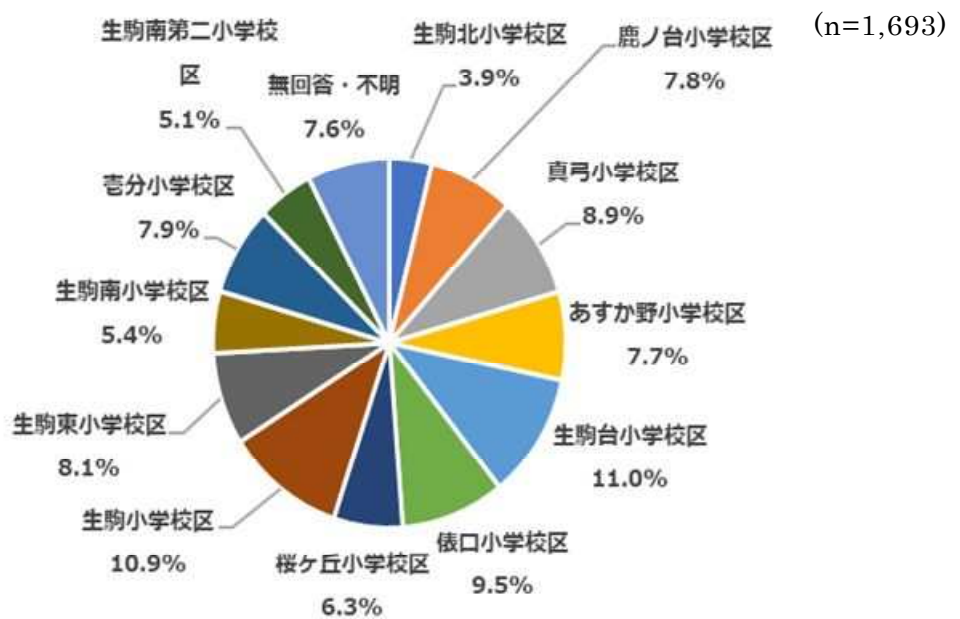
〈性別〉



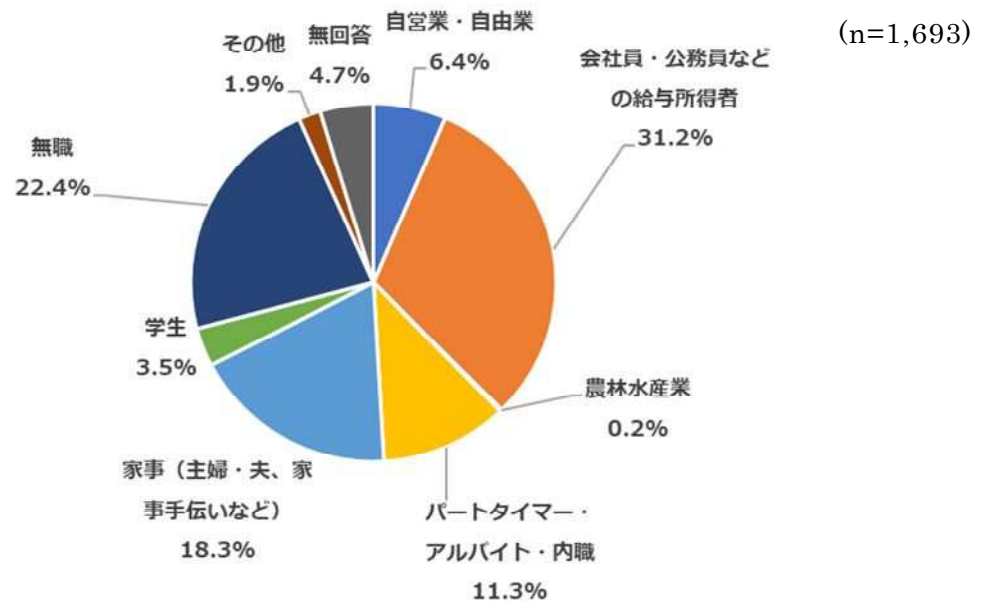
〈年齢〉



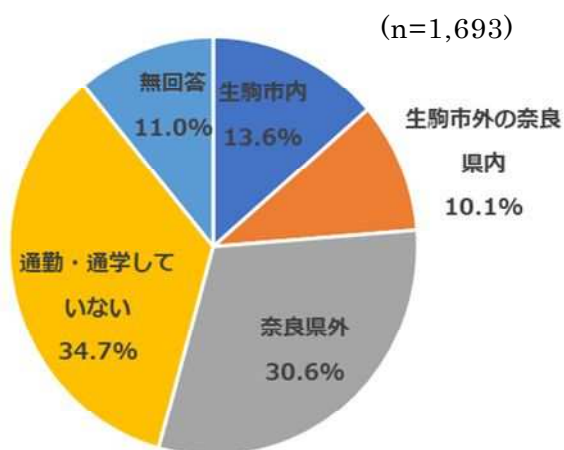
〈居住小学校区〉



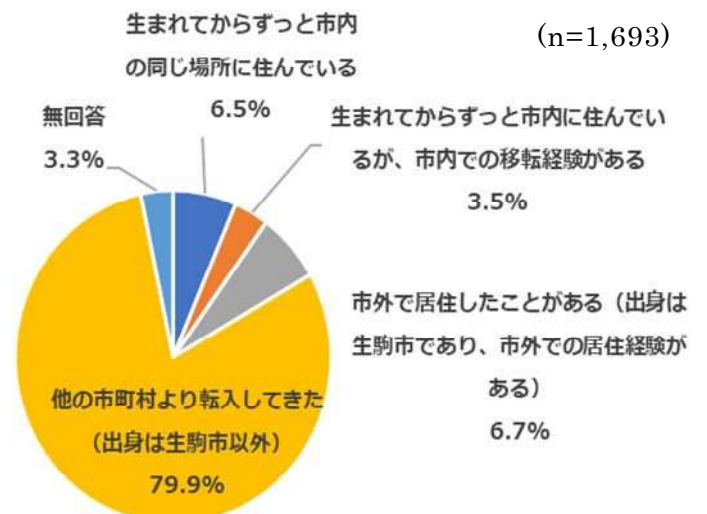
〈職業〉



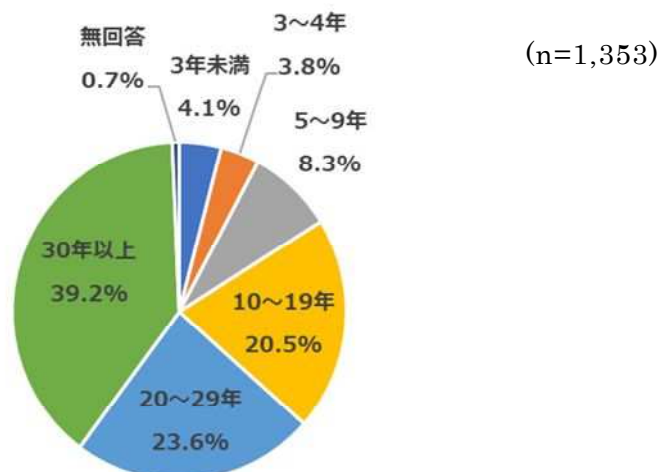
〈通勤・通学先〉



〈居住状況〉



〈市内での居住年数（他市から転入）〉



4. 主な調査結果

(1) 定住意向とその理由

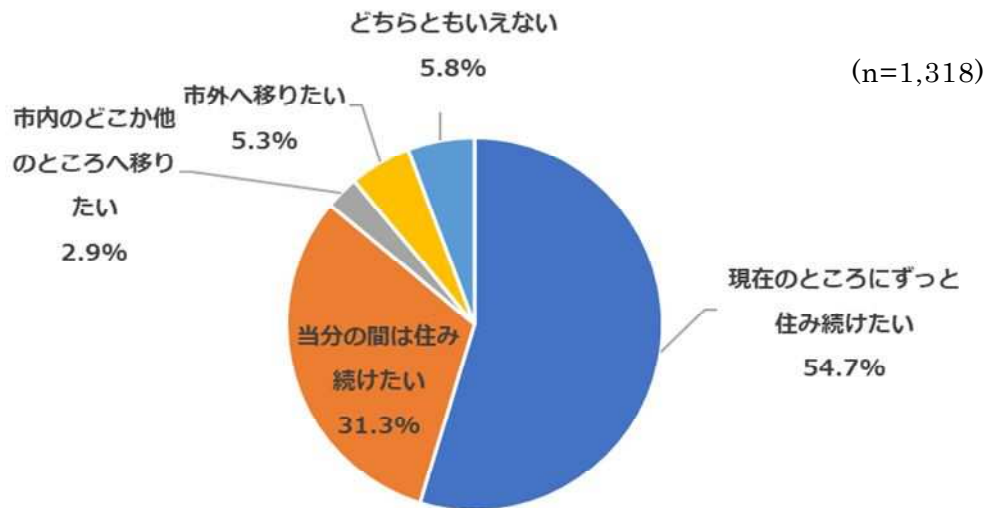
問 あなたは今後も現在のところに住み続けたいと思われませんか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

(「現在のところにずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」と回答した方)

住み続けたいと思う理由を、次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

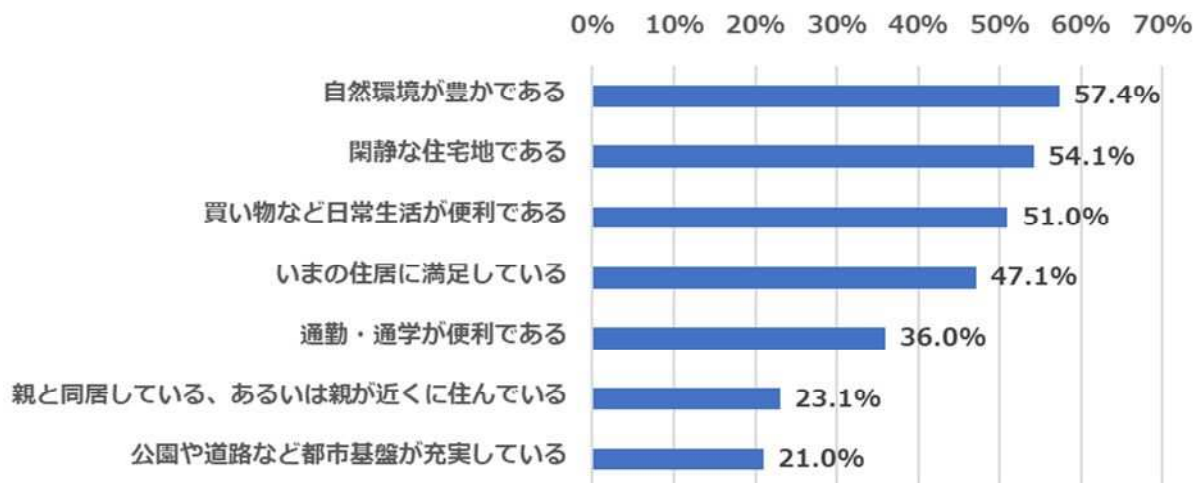
定住意向（住み続けたいと考えている人）は86%。住み続けたいと思う主な理由の上位は「自然環境が豊かである」が57.4%で最も高く、次いで「閑静な住宅地である」が54.0%、「買い物など日常生活が便利である」が51.0%と続いている。

〈定住意向〉



〈住み続けたい理由（上位7項目）〉

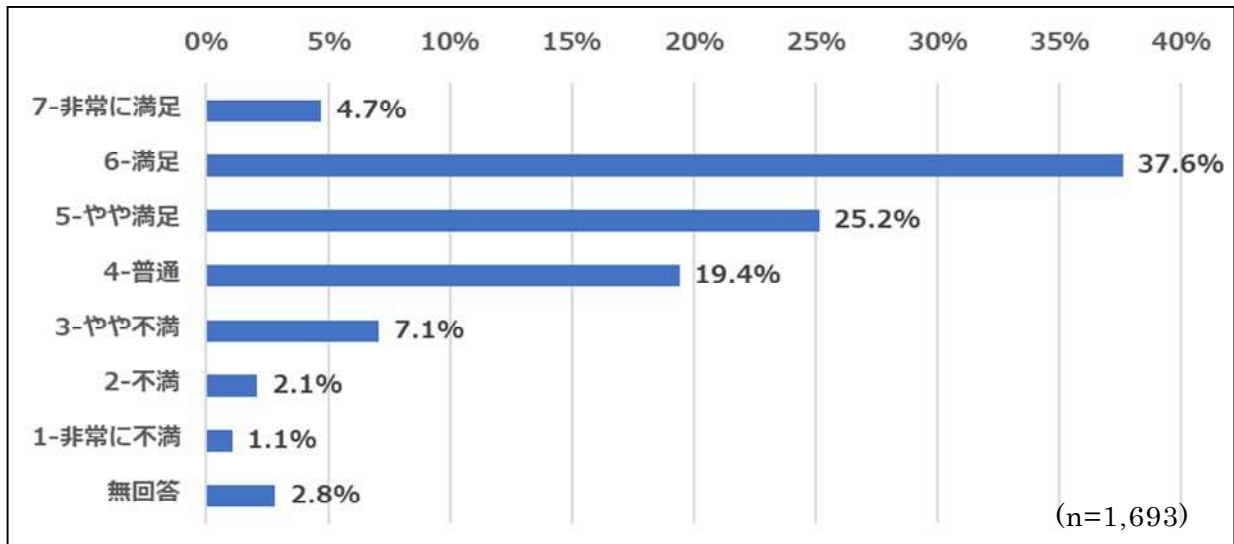
(n=1,134)



(2) 住みやすさの満足度

問 毎日の暮らしを総合的に考えた場合、現在住んでいる地域の住みやすさについて、どの程度満足されていますか。「非常に満足」を7、「非常に不満」を1. と考え、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

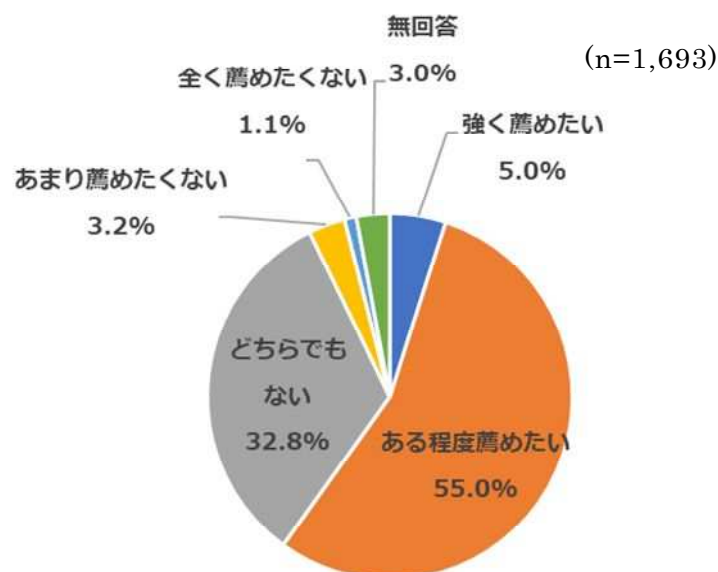
「6-（満足）」が 37.6%で最も高く、次いで「5-（やや満足）」が 25.2%、「4-普通」が 19.4%と続いており、平均は 5.0 で前回調査の 4.9 よりも 0.1 上昇している。



(3) 居住の推奨度

問 毎日の暮らしを総合的に考えた場合、生駒市への居住を知人にどの程度薦めたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

「ある程度薦めたい」が 55.0%で最も高く、次いで「どちらでもない」が 32.8%、「強く薦めたい」が 5.0%で、『薦めたい』合計は 60%となっている。

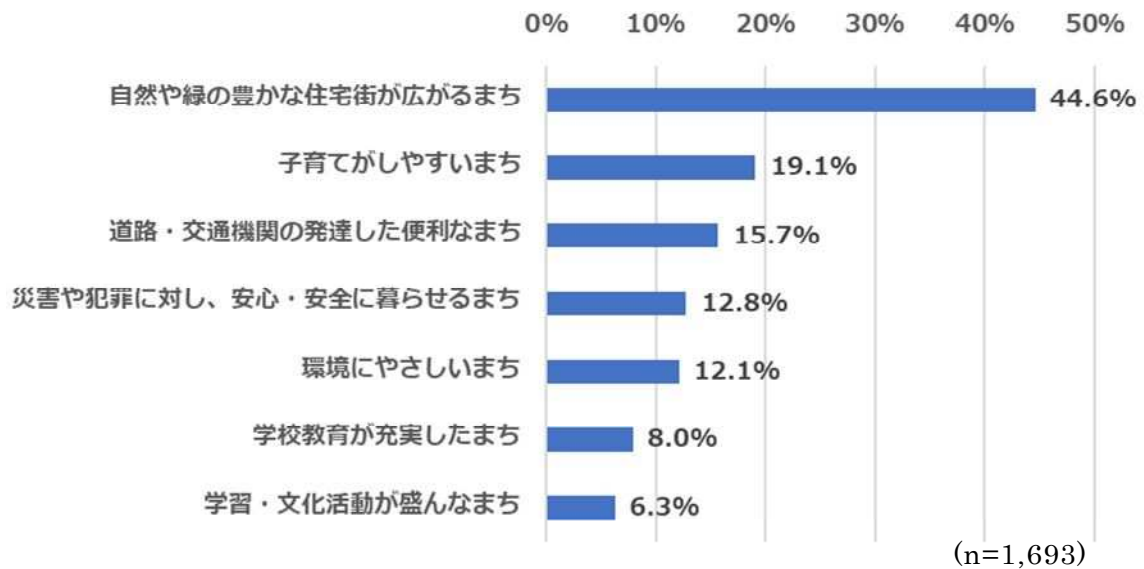


(4) 生駒市のイメージ

問 現在の生駒市は、どのようなまちだと思いますか。あてはまるものを2つ選び、番号に○をつけてください。

「自然や緑の豊かな住宅街が広がるまち」が44.6%で最も高く、次いで「子育てがしやすいまち」が19.1%、「道路・交通機関の発達した便利なまち」が15.7%と続いている。

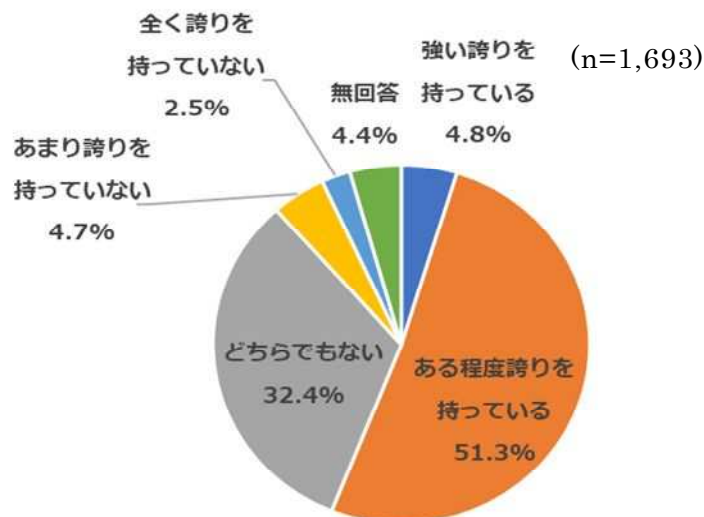
〈生駒市のイメージ（上位7項目）〉



(5) 市民としての誇り

問 生駒市に住んでいることに、どの程度誇りを持っていますか？あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

「ある程度誇りを持っている」が51.3%で最も高く、次いで「どちらでもない」が32.4%、「強い誇りを持っている」が4.8%と続いております、『誇りを持っている』合計は56.1%となっています。



(6) 施設の満足度

問 生駒市における次の施設について、現状の「満足度」(施設の数や近くにあるかどうかなど)をおたずねします。次の(1)～(19)の各項目について、あなたの思いにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

「図書館」(満足計 46.7%) が最も満足度が高く、次いで「病院・診療所」(満足計 35.3%)、「鉄道やバスなどの公共交通機関」(満足計 34.0%) と続いており、「歩道や歩行者専用道路の整備」(不満計 40.3%) が最も不満度が高く、次いで「日常生活に利用する生活道路」(不満計 26.8%)、「駐輪場・駐車場」(不満計 25.7%) と続いている。

〈『満足』(「満足」+「やや満足」)の比率上位5項目

順位	施設	満足計比率
1	図書館	46.7%
2	病院・診療所	35.3%
3	鉄道やバスなどの公共交通機関	34.0%
4	市民ホールなどの文化施設	28.6%
5	コミュニティセンターなどの生涯学習施設	24.7%

〈『不満』(「不満」+「やや不満」)の比率上位5項目

順位	施設	不満計比率
1	歩道や歩行者専用道路の整備	40.3%
2	日常生活に利用する生活道路	26.8%
3	駐輪場・駐車場	25.7%
4	国道や県道などの幹線道路	23.6%
5	信号や横断歩道などの交通安全施設	23.2%

(7) 取組やサービスの満足度

問 生駒市が実施している取組やサービス（内容や質）について、現状の「満足度」をおたずねします。次の(1)～(25)の各項目について、あなたの思いにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

「ごみの減量や分別収集」（満足計 29.8%）が最も満足度が高く、次いで「上水道（水道事業）」（満足計 24.0%）、「緑化の推進」（満足計 21.7%）と続いており、「下水道（下水道事業）」（不満計 23.3%）、が最も不満度が高く、次いで「ごみの減量や分別収集」（不満計 21.5%）「市内の産業振興・企業誘致」（不満計 19.0%）と続いている。

〈『満足』（「満足」＋「やや満足」）の比率上位 5 項目

順位	取組・サービス	満足計比率
1	ごみの減量や分別収集	29.8%
2	上水道（水道事業）	24.0%
3	緑化の推進	21.7%
4	一般の医療サービス	21.5%
5	健康診査・健康教育などの保健サービス	20.6%

〈『不満』（「不満」＋「やや不満」）の比率上位 5 項目

順位	取組・サービス	不満計比率
1	下水道（下水道事業）	23.3%
2	ごみの減量や分別収集	21.5%
3	市内の産業振興・企業誘致	19.0%
4	休日・夜間医療サービス	15.7%
5	避難情報の発信などの防災対策	13.9%

(8) 施策の重要度

問 生駒市では、つぎのような各分野の施策に取り組んでいます。次の(1)～(30)の各分野の重要性について、あなたの思いにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

『重要計』（「重要」と「やや重要」の合計）では、「医療」が84.4%で最も高く、次いで「防災」が77.0%、「高齢者保健福祉・地域福祉」が74.8%、「生活安全」が73.9%、「消防」が73.4%と続いている。

また、『重要計』の下位項目は、「歴史・文化振興」（33.5%）、「市民協働・地域コミュニティ」（36.3%）、男女共同参画（37.4%）となっている。

〈『重要計』（「重要」＋「やや重要」）の比率上位5項目〉

順位	施策	重要計比率
1	医療	84.4%
2	防災	77.0%
3	高齢者保健福祉・地域福祉	74.8%
4	生活安全	73.9%
5	消防	73.4%

〈『重要計』（「重要」＋「やや重要」）の比率下位5項目〉

順位	施策	重要計比率
30	歴史・文化振興	33.5%
29	市民協働・地域コミュニティ	36.3%
28	男女共同参画	37.4%
27	商工観光	38.4%
26	農業	41.6%

(9) 総合計画に示す5年後のまちの進捗度

問 生駒市が実現を目指す「5年後のまち」の姿に対し、市の現状をどのように感じておられるかをおたずねします。次の各項目について、あなたの実感にもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

総合計画に示す5年後のまちの進捗度について、『思う』（「そう思う」と「どちらかという」と「そう思う」の合計）では、「健全で効率的な事業経営を維持し、安全安心な水道水を安定して供給している。」が 57.8%で最も高く、次いで「医療費削減に向けた一人ひとりの意識向上のもと、国民健康保険制度が安定的に運営され、誰もが安心して医療を受けている。」が 54.2%、「住民同士の声かけや助け合い活動、相談機関の活用により、心の健康が維持でき、自分らしく生きがいを持ち、安心して暮らすことができています。」が 51.2%と続いている。『思う』比率が最も低いのは、「PR 強化や、ハード面の整備により、市民中心であった本市の観光について市外での認知度が向上し、観光客数が増えている。」の 11.4%で、次いで「既存農業者や新規就農者等を支援することにより、農地が適正に保全されている。」が 14.3%、「中小企業の安定的な経済活動及び多様な働き方（起業、サテライトオフィスの利用、企業への就職等）が進んでいる。」が 16.3%と続いている。

〈『思う』（「そう思う」＋「どちらかという」と「そう思う」）の比率上位5項目〉

順位	小分野	細分野	生駒市が目指す「5年後のまち」の姿	思う比率
1	422 上下水道	① 上水道	健全で効率的な事業経営を維持し、安全安心な水道水を安定して供給している。	57.8%
2	112 医療	③ 医療保険制度	医療費削減に向けた一人ひとりの意識向上のもと、国民健康保険制度が安定的に運営され、誰もが安心して医療を受けている。	54.2%
3	111 健康づくり	② 心の健康	住民同士の声かけや助け合い活動、相談機関の活用により、心の健康が維持でき、自分らしく生きがいを持ち、安心して暮らすことができています。	51.2%
4	111 健康づくり	① 身体の健康	健（検）診や地域の活動により、一人ひとりが自然に健康に対する関心を持ち、元気で生きがいを持った市民が増えている。	50.5%
5	411 住宅環境	② 住宅性能	いつまでも安心・快適に暮らせる住まいの普及が進んでいる。	48.0%

〈『思う』（「そう思う」＋「どちらかという」と「そう思う」）の比率下位5項目〉

順位	小分野	細分野	生駒市が目指す「5年後のまち」の姿	思う比率
68	521 商工観光	③ 観光	PR強化や、ハード面の整備により、市民中心であった本市の観光について市外での認知度が向上し、観光客数が増えている。	11.4%
67	531 農業	① 農地保全	既存農業者や新規就農者等を支援することにより、農地が適正に保全されている。	14.3%
66	521 商工観光	② 商工業	中小企業の安定的な経済活動及び多様な働き方（起業、サテライトオフィスの利用、企業への就職等）が進んでいる。	16.3%
65	521 商工観光	① 企業立地	学研生駒テクノエリア（旧北田原工業団地）等において、自然環境と調和した良好な工業団地の形成が行われている中、製造業を中心とした企業立地が進んでいる。	19.2%
64	531 農業	② 農地活用	遊休農地の有効活用が進められている。	19.9%

(10) 市民の役割分担（市民ができること）

問 総合計画に示した市民の役割（一部抜粋）について、各分野における取組状況をおたずねします。次の項目について、あなたの状況にもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

『取り組んでいる計』（「十分取り組んでいる」と「取り組んでいる」の合計）では、「「生駒市まちをきれいにする条例」「生駒市歩きたばこ及び路上喫煙の防止に関する条例」に定められた責務を認識している。」が 61.3%で最も高く、次いで「ジェネリック医薬品の利用、重複受診の見直し等により医療費削減に努めている。」が 58.6%、「消費生活に関する知識や情報を取得し、消費者トラブルに巻き込まれないよう心掛けている。」が 56.8%と続いている。

また、『取り組んでいる計』の比率が低い項目は、「不登校やニート、ひきこもり等の当事者及び家族に、行政の支援窓口等の情報を提供している。」が 2.5%、次いで「学研高山地区第2工区のまちづくりに対し関心をもち、意見を述べている。」が 3.0%、「軽易な異常の早期発見のために、システムによる通報を行っている。」が 3.2%と続いている。

〈『取り組んでいる』（「十分取り組んでいる」＋「取り組んでいる」）の比率上位5項目〉

順位	小分野	細分野	市民ができること	取り組んでいる比率
1	432 生活環境	① 地域美化・環境衛生	「生駒市まちをきれいにする条例」「生駒市歩きたばこ及び路上喫煙の防止に関する条例」に定められた責務を認識している。	61.3%
2	112 医療	③ 医療保険制度	ジェネリック医薬品の利用、重複受診の見直し等により医療費削減に努めている。	58.6%
3	151 生活安全	③ 消費者保護	消費生活に関する知識や情報を取得し、消費者トラブルに巻き込まれないよう心掛けている。	56.8%
4	111 健康づくり	① 身体の健康	個人レベルで健（検）診や食事、運動等に関心をもち、積極的・定期的に受診している。	53.7%
5	112 医療	① 地域医療	地域医療への関心をもち、適正な受診を心掛けている。	52.7%

〈『取り組んでいる』（「十分取り組んでいる」＋「取り組んでいる」）の比率下位5項目〉

順位	小分野	細分野	市民ができること	取り組んでいる比率
67	222 青少年	② 自立支援	不登校やニート、ひきこもり等の当事者及び家族に、行政の支援窓口等の情報を提供している。	2.5%
66	412 都市づくり	③ 学研都市	学研高山地区第2工区のまちづくりに対し関心をもち、意見を述べている。	3.0%
65	421 道路・公共交通	② 生活道路	軽易な異常の早期発見のために、システムによる通報を行っている。	3.2%
64	441 緑環境・公園	③ 公園整備	自らが主体となって、公園の再整備や維持管理に携わっている。	3.2%
63	221 学校教育	③ 学校施設	学校施設における改善点等を提案している。	4.2%

(11) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け困っていることを、①現在の困りごと、②将来的に想定される困りごとについて、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

現在困っていることでは、「外出時の制限（マスクや消毒など感染予防対策）」が 698 件で最も多く、次いで「友人や親族、ご近所等との交流機会の減少」が 644 件、「運動・スポーツの機会の減少」が 409 件と続いている。

将来的に想定される困りごとでは、「ご自身・ご家族の健康悪化（身体面）」が 716 件で最も多く、次いで「収入の減少」が 623 件、「ご自身・ご家族の健康悪化（精神面）」が 607 件と続いている。

〈現在の困りごと〉



〈将来的に想定される困りごと〉

